

## 2025 年度人文学部 FD 活動方針・活動計画

(キリスト教学科, 人類文化学科, 心理人間学科, 日本文化学科)

FD 活動に関して, 学部全体としては, 各学科の時間割担当教員, 学部教務委員, 学部 FD 委員からなる人文学部カリキュラム委員会において検討等を進めていく。2025 年度は, 学生の指導, とりわけ, ゼミの運営や研究プロジェクトの指導に焦点を当てたい。生成 AI の登場や就職活動の早期化などにより, ゼミ運営や研究プロジェクトの指導において, 以前と異なる課題や対応が必要となっている。教員相互で意見交換を行い, 指導の課題や工夫を共有する機会を持ちたい。(他に, 年度内での早期の対応が必要な課題が現れた際には, そちらを優先して扱う可能性がある。)

各学科については, 以下の通り。

キリスト教学科では 4 月に新入生オリエンテーション合宿を開催する予定。学科の教員を紹介し, 学科の特徴や魅力, 勉強内容, 学生生活へのアドバイスなどを教員と学生スタッフが新入生に語り, 交流することで新入生が充実した大学生活を始められるようにすると共に, 学生指導にも役立てる。5 月には新入生歓迎コンパを開催する予定であり, 新入生以外の学生との交流と親睦の機会とする。また 2025 年 2 月には「研究プロジェクト発表会」, 「卒業生歓送会」, 「次年度ゼミ説明会」を開催し, 教員と学科学生との間の質疑応答, 交流, 親睦の機会を設けて学生指導に役立てる予定。また年度末には学科 FD 懇談会を開く予定である。

人類文化学科では以下のような活動を予定している。①「1 年生からゼミ選択をサポートする体制作り」として, 引き続き, 「1 年生向けゼミ紹介」と「2 年生向けゼミ紹介」を学科会議で相談して行う。②「学科アンケート」の総数を増やす(学生が回答しやすくなり回答したくなるような)方策をさらに検討する。③学科科目は同一の科目群(例えば「文献資料講読」「フィールドワーク」「地域の文化と歴史」等)であっても担当教員の間や学科教員の間で互いの講義内容について必ずしもよく知っているというわけではなく, 今後の学科科目の在り方を考えていくためにも, 「学科科目の再確認」というシリーズものの学科 FD の会をもち, 今年度は 1 回目として「文献資料講読」科目群について, 科目担当者および担当予定者の話を聴いて再確認する会をもつ。活動計画としては, 学科会議後に数回学科 FD を行う予定である。

心理人間学科は, ①多様な機会をとらえて学生, 授業の情報を共有すること, ②新設された「学科 IR 委員」によるデータ収集分析に基づき, 学科教育の向上に学科全体で取り組んでいくこと, ③学科ディプロマ・ポリシーに関する学生の到達度の把握と評価の方法を検討

していくこと，を今年度の活動の方針とする。活動計画としては，学科会議において，および，年度末に開催予定である学科 FD 企画において，調査等で得られたデータに基づきながら①～③の現状把握および改善策について学科教員で検討を行っていく。

日本文化学科では，以下の取り組みを実施してく。

新入生オリエンテーションを 4 月半ばに実施する。

6 月及び 10 月に，2 年生対象のゼミの説明会を実施する。

2024 年度の FD で検討したように 4 年生の研究プロジェクト進行について，各ゼミでの共通して行うことを実施していく。

2025 年度も，基礎演習やゼミにおいて生じた課題を基に，学科教員での情報共有と対策について検討し，学生に寄り添い，学生にとって学びやすく，得るものが大きい大学生活になるように努めたいと考えている。

年度末には，学科会議後の時間を用いて活動状況の確認などを行い，情報共有と次年度の課題について検討する予定である。